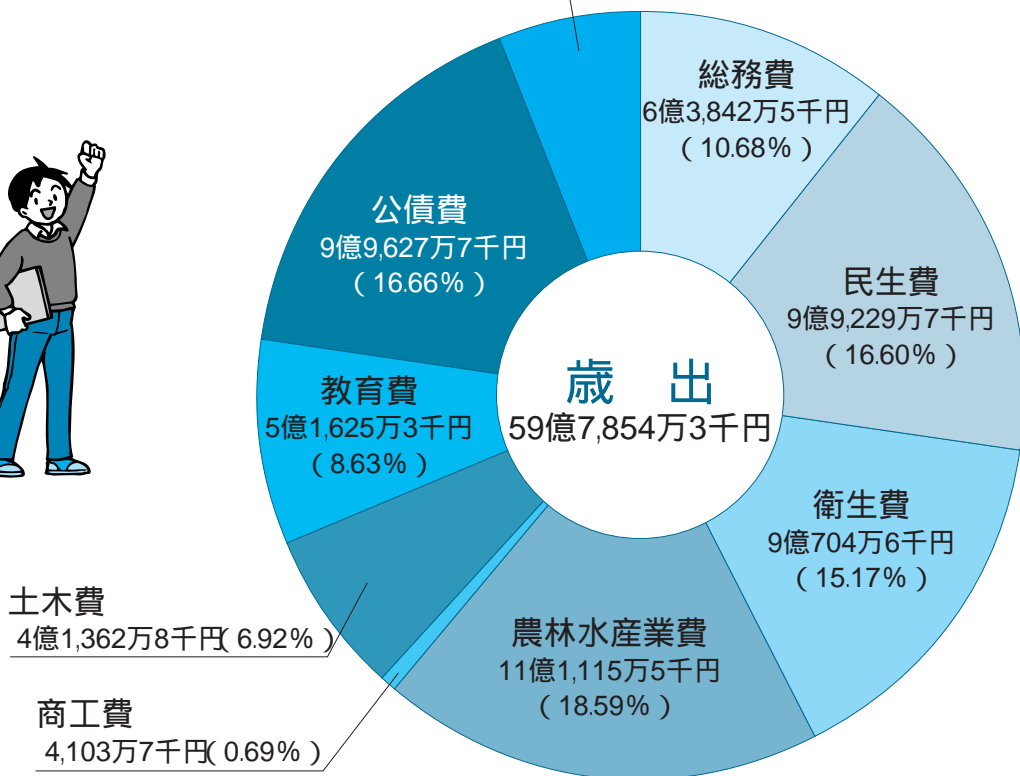


各会計別予算表

会計名	平成 17 年度	平成 16 年度	増 減
一 般 会 計	59 億 7,854 万 3 千円	61 億 7,739 万 9 千円	△ 1 億 9,885 万 6 千円
国民健康保険事業特別会計	18 億 751 万 2 千円	18 億 8,738 万円	△ 7,986 万 8 千円
水道事業会計	2 億 4,802 万円	2 億 4,810 万 8 千円	△ 8 万 8 千円
老人保健特別会計	20 億 6,209 万 3 千円	21 億 6,853 万 1 千円	△ 1 億 643 万 8 千円
公共下水道事業特別会計	3 億 7,187 万 1 千円	3 億 8,331 万 9 千円	△ 1,144 万 8 千円
介護保険事業特別会計	13 億 9,553 万 1 千円	14 億 558 万 3 千円	△ 1,005 万 2 千円
合 計	118 億 6,357 万円	122 億 7,032 万円	△ 4 億 675 万円



その他 3億6,242万5千円(6.06%)



平成 15 年度の大崎町の財政状況 (平成 16 年 3 月 31 日現在)  
**バランスシートと行政コスト計算書**

① バランスシート (一般会計)

<b>資 産</b> 平成 15 年度末 21,995 百万円 (1,373 千円)	<b>負 債</b> 44.0% 平成 15 年度末 9,676 百万円 (604 千円)
	<b>正味資産</b> 56.0% 平成 15 年度末 12,319 百万円 (769 千円)

本町の資産は 21,995 百万円となっています。  
 負債は 9,676 百万円、正味資産は 12,319 百万円となっています。

●用語の説明●

**資産**…道路や公園、学校などの町の保有する財産  
**負債**…将来、支払いや返済が必要があるもの(町債など)  
**正味資産**…資産と負債の差額。これまでの世代が作り上げ、後世に引き継ぐもの

バランスシートと行政コスト計算書とは、一般企業の貸借対照表と損益計算書のことで、下の表はこの方法で本町の財政状況を分析したものです。また、( )内は町民 1 人当りの金額です。

② 行政コスト計算書 (一般会計)

<b>行政コスト</b> 6,586 百万円 (411 千円)	<b>収 入</b> 4,950 百万円 (309 千円)
	<b>差 引</b> 1,636 百万円 (102 千円)

行政コスト計算書は、資産の形成につながらない人件費や、扶助費などに着目して、1 年間の行政サービス活動にかかった費用を示すものです。

収入総額から行政コスト総額を差引いた差額が、正味資産の一般財源などの増減分となります。